

令和5年度 地域と学校の連携・協働体制構築事業目標及び達成状況と評価について

課題の類型	課題の詳細	左記課題の解決のために 本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標 (アウトカム)	目標の達成度を 測る指標	R 4 年度 ま での 数 値	単 位	R 5 年度 の 目 標 値	R 5 年度 の 実 績 値	アウトカムの達成度に関する評価・分析 (事業における成果、課題、改善点等)
青少年の健全育成	中学生になると部活動・学業等で多忙となり地域の活動に参加する機会が減少する	年度内を通した町の行事(公共性の高いもの)に中学生ボランティアを募集し、参加をはかる	地域活動に参画することで中学生と地域の繋がりを深める。	ボランティアに参加した中学生延べ人数	10	人	35	62	活動に参加した中学生がR6年度も参加したいと意欲の向上・地域主催の会積極的に参加するなど中学生の地域参画への意欲が大いに進み、地域活動への関心も高まった。地域の方にも大変喜ばれている。R6年度は事業を拡大していく予定です。
読書習慣の定着・読書体験の充実	読書習慣の形成	親子で図書館司書講座を開催し、読書習慣形成の役割を家庭や地域も分担	読書をしていた朝学習の時間を補充学習に充てることで学校での学習支援が充実	講座の参加者人数	15	人	20	33	参加者は、司書体験等、図書館での時間をとおして読書の魅力だけでなく、本を大切にすること、そして家庭での読書時間の大切さ等を感じていた。家庭時間の充実にもつながり、読書の習慣づくりに大きな一助となっている。今後も多くの子に参加いただけるように周知等の工夫も重ねていきたいと考えております。
学校支援ボランティアの確保・育成	学校・学習支援ボランティアを行っているが支援員の数が減少している	現状の支援員に加え、保護者にも登録の呼びかけを行う	学校支援ボランティア数が増加することにより、多種多様な分野への支援が可能になる。	支援員の登録数	60	人	65	57	多岐にわたる学校からの支援要望には十分応えることができ、先生達の負担が減ったというご意見をいただいている。しかしながら、登録数が目標人数には届かず、支援に入られる方が固定されてきており、1人にかかる負担が大きくなっている為、令和6年度においても引き続き周知を行って参ります。